

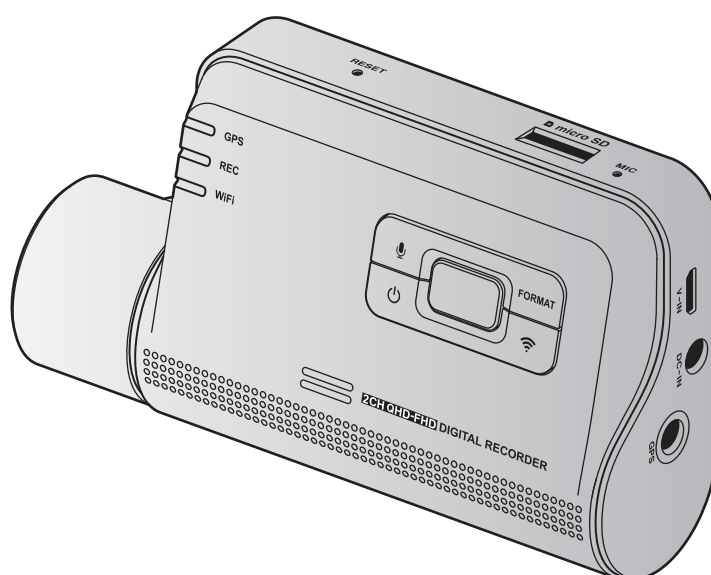
THINKWARE DASH CAM™

Q800 PRO

ユーザーガイド

本製品は、自動車の運転中にビデオを録画します。

製品の正しい使用および維持のため、このガイドをよくお読みになり、指示に従ってください。



本製品を使用する前に

本製品について

本製品は、自動車の運転中にビデオを録画します。本製品は、事件や道路事故を調査するときの参考のためにのみ使用します。本製品は、すべての出来事に対する録画またはクラウドデータの処理を保証するものではありません。本機では、衝撃が小さすぎて衝撃センサーが起動しない事故や自動車のバッテリー電圧が無効になるような衝撃の大きい事故は録画できないことがあります。

ビデオ録画は、本製品が完全にオンになる（起動が完了する）までは開始しません。すべての自動車事故を確実に記録するには、電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。

THINKWAREは、事故を原因とするいかなる損害に対する責任や事故の結果に対してサポートを提供する責任を一切負いません。

リモートドアロック装置の設置、ECUの設定またはTPMSの設定などの自動車の設定または運転の状況によっては、本製品の一部の機能がサポートしていない場合があります。また、ファームウェアのバージョンによっては、本製品の性能や機能に影響を与えることがあります。

ユーザーガイドについて

当社のサービスポリシーが更新される際に、ユーザーガイドの情報も変更される場合があります。

このユーザーガイドはTHINKWARE Q800 PROモデルのみを対象としており、技術的なエラー、編集のエラー、情報の欠落が含まれる可能性があります。

著作権

このガイドの内容および地図に対するすべての権利はTHINKWAREによって留保され、著作権法のもと、保護されています。THINKWAREの書面による同意なしに、このガイドを無断で複製、改訂、出版、配布することは禁止されており、刑事訴訟の対象となります。

登録商標

THINKWARE Q800 PROはTHINKWAREの登録商標です。

このガイドの他の製品ロゴおよびサービス名は、関連企業の商標です。

カナダ産業放射線暴露宣言

本機は、管理されていない環境に対して設定されたIC放射線被曝限度に適合しています。本機のラジエーターをお客様の体から20cm以上離して設置し、使用してください。

FCC宣言

本機はFCC Part 15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従って行われます。(1) このデバイスが有害な干渉の原因となってはならず、(2) このデバイスは望ましくない動作の原因となる可能性のある干渉を含む受信したあらゆる干渉に耐えられなくてはなりません。

この装置は、FCC Part 15に準拠するClass Bデジタルデバイスの制限に従うことがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対する合理的な保護を提供するために設計されています。この装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。説明書の通りに設置または使用しない場合、無線通信への有害な干渉の原因となることがあります。ただし、特定の設置により干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオまたはテレビへの有害な干渉の原因となっているかどうかは、本装置のオン/オフを切り替えることで判断できます。ユーザーが以下のひとつまたは複数の手段を講じて干渉を補正することが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または移動する。
- 本装置と受信機の距離を大きくする。
- 本装置を受信機が接続されているコンセントとは別系統のコンセントに接続する。
- 販売業者または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。
- 本機とアンテナを同じ場所に設置したり、他のアンテナや送信機と組み合わせて使用したりしないでください。
- 本機の高周波のばく露要件を満たすために、アンテナと人との間は20cm以上離してください。

FCC警告：本装置を法令順守の責任を負う当事者の明示的許可なく変更または改造した場合、当局による本装置の使用許可が無効になることがあります。

FCC ID:2ADTG-Q800 PRO

RSS-247に関する情報

本機は、カナダ産業省のライセンス免除機器に対するRSSに準拠しています。

本機を法令順守の責任を負う当事者の明示的許可なく変更または改造した場合、当局による本装置の使用許可が無効になることがありますので、ご注意ください。

注意：動作は次の2つの条件に従って行われます。(1) 本機が干渉の原因となってはならず、(2) 本機は本機の望ましくない動作の原因となる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉に耐えられなくてはなりません。

本装置はカナダICES-003に準拠するClass Bデジタル装置です。

IC:12594A-Q800 PRO

目次

安全性に関する情報	6	4.4 ビデオ管理メニューの概要	26
1. 製品概要	9	4.5 クラウドサービス	27
1.1 同梱物	9	4.5.1 THINKWAREアカウントへのログイン	27
1.1.1 標準品	9	4.5.2 自動車の位置検索	28
1.1.2 付属品 (別売)	9	4.5.3 ジオフェンスの設定	29
1.2 各部の名称	10	4.5.4 運転中衝撃通知機能を使用します。	31
1.2.1 フロントカメラ(本体) - 正面図	10	4.5.5 クラウドサービスで運転中の衝撃時の 動画を見る	32
1.2.2 フロントカメラ(本体) - 背面図	11	5. PCビューワの使用	33
1.2.3 リアカメラ(別売)	11	5.1 システム要件	33
1.3 メモリーカードの取り外しと挿入	12	5.2 Windows用PCビューワ	33
2. 本製品の設置	13	5.2.1 PCビューワ (Windows用) をインスト ールする	33
2.1 フロントカメラ(本体)の設置	13	5.2.2 PCビューワ画面のレイアウト (Windows用)	34
2.1.1 設置位置の選定	13	5.2.3 PCビューワでの録画されたビデオの 再生 (Windows用)	35
2.1.2 本製品の固定	13	5.2.4 ビデオ管理メニューの概要 (Windows 用)	36
2.1.3 電源ケーブルの接続	15	5.3 Mac用PCビューワ	37
2.2 リアカメラ(別売)の設置	16	5.3.1 PCビューワ (Mac用) をインストール する	37
2.2.1 設置位置の選定	16	5.3.2 PCビューワ画面のレイアウト (MAC用)	38
2.2.2 リアカメラの固定	17	5.3.3 PCビューワ (Mac用) での録画された ビデオの再生	39
2.2.3 リアカメラケーブルの接続	18	5.3.4 ビデオ管理メニューの概要 (Mac用)	40
3. 録画機能の使用	19	6. 設定	41
3.1 本製品のオン/オフ	19	6.1 メモリーカードの管理	41
3.2 ファイルの保存場所について	19	6.1.1 メモリーカードの分割	41
3.3 継続録画機能の使用	20	6.1.2 メモリーカードのフォーマット	41
3.4 手動録画	20	6.1.3 ビデオ上書き機能の設定	41
3.5 駐車モードの使用	20	6.2 カメラの設定	42
4. モバイルビューワの使用	22	6.2.1 フロントカメラの輝度の設定	42
4.1 本機のスマートフォンへの接続	22	6.2.2 リアカメラの輝度の設定	42
4.1.1 製品をAndroidデバイスに接続する	22	6.2.3 後方の映像の上下を逆転	42
4.1.2 製品をiOSデバイスに接続する	23		
4.2 モバイル ビューワ画面のレイアウト	25		
4.3 モバイル ビューワでの録画されたビデオの 再生	26		

6.3 録画機能の設定	42	8. ファームウェアのアップグレード	52
6.3.1 常時衝撃検知感度の設定	42	9. 本製品のリセット	52
6.3.2 スーパーナイトビジョン機能の設定	43	10.トラブルシューティング	53
6.3.3 駐車モードの設定	43	11.仕様	54
6.3.4 駐車モードでの衝撃感度の設定	43		
6.3.5 モーション感度の設定	43		
6.3.6 録画タイマー機能の設定	44		
6.3.7 バッテリー保護機能の設定	44		
6.3.8 録画終了電圧機能の設定	44		
6.3.9 冬期のバッテリー保護機能の設定	45		
6.4 交通安全警告機能の設定	45		
6.4.1 交通安全警告システムの設定	45		
6.4.2 モバイルゾーン警告の設定	45		
6.4.3 車両タイプの識別	45		
6.4.4 ADAS校正の設定の初期化	46		
6.4.5 車線逸脱警告感度の設定	46		
6.4.6 車線逸脱警告速度の設定	46		
6.4.7 前方衝突検知感度の設定	46		
6.4.8 低速前方衝突検知感度の設定	47		
6.4.9 前方車両発車警告の設定	47		
6.5 システム設定	47		
6.5.1 表示言語の設定	47		
6.5.2 システムのボリュームの調整	48		
6.5.3 セキュリティLEDの設定	48		
6.5.4 リアカメラLEDの設定	48		
6.5.5 タイムゾーンの設定	48		
6.5.6 夏時間の設定	49		
6.5.7 速度単位の設定	49		
6.5.8 スピードスタンプの設定	49		
6.5.9 音声録画の設定	49		
6.6 ネットワーク機能の設定	50		
6.6.1 ネットワーク機能を設定する	50		
6.6.2 運転中衝撃通知の感度を設定する	50		
6.6.3 運転中の衝撃時の動画アップロード設定	50		
7. 製品情報の確認	51		
7.1 製品情報の表示	51		
7.2 GPSへのアクセスおよび設定	51		

安全性に関する情報

安全性に関する次の情報を読み、本製品を適切に使用してください。

本ガイドの安全に関する記号



「危険」- 回避しなければ、けがや死亡の恐れのある危険があることを指します。



「警告」- 回避しなければ、軽傷や物的損害が生ずる恐れのある危険があることを指します。



「注意」- ユーザーが本製品の機能を活用するのに役立つ有益な情報を提供します。

適切に使用するための安全性に関する情報

運転と製品の操作



- 自動車を運転中に本製品を操作しないでください。運転中に気が散ると事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。
- 運転手の視野を妨げない場所に本製品を設置してください。運転手の視野を妨げることは事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。フロントガラスに本製品を取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。

電源



- 濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。感電死の恐れがあります。
- 損傷した電源ケーブルを使用しないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。
- 電源ケーブルはあらゆる熱源から離しておいてください。電源コードの断熱材が溶けて、電気火災や感電死につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルと正しいコネクタを使用して、電源ケーブルを適切な場所にしっかりと接続してください。電気火災や感電死の恐れがあります。
- 電源ケーブルを改造したり、切断しないでください。また、電源ケーブルの上に重い物を負いたり、過度に力を入れて電源ケーブルを引っ張ったり、差し込んだり、曲げたりしないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。



- アクセサリーはTHINKWAREまたはTHINKWARE認定ディーラーの純正品のみを使用してください。THINKWAREは、サードパーティーのアクセサリの互換性や通常動作を保証しません。
- 電源ケーブルを本製品に接続するときは、ケーブルのプラグと本製品の電源ケーブルコネクタをしっかりと接続してください。接続がゆるいと、自動車の振動により電源ケーブルが外れることがあります。ビデオ録画は、電源コネクタが接続されていない場合は使用できません。

子どもやペット



- 本製品を子どもやペットの手の届かない場所に設置してください。本製品が破損した場合、致命的な損傷になる恐れがあります。

本製品に関するその他の情報

製品の管理と操作



- 本製品を直射日光などの強い光にさらさないでください。レンズや内部回路が故障する恐れがあります。
- 本製品は、14°F～140°F (-10°C～60°C) の温度で使用し、-4°F～158°F (-20°C～70°C) の温度で保管してください。指定温度の範囲外で使用または保管した場合、本製品が設計通りに機能しなくなり、物理的損傷を受け続ける恐れがあります。こうした損傷は保証の範囲外です。
- 本製品の設置位置が適切かどうかを頻繁に確認してください。極端な道路状況によって生じた衝撃により設置位置がずれることがあります。本製品を本ガイドの通りの位置に設置してください。
- 本機のボタンを押す際は、過度な力を加えないでください。ボタンが損傷する恐れがあります。
- 本製品の清掃に化学的な洗剤や溶剤を使用しないでください。本製品のプラスチック部品が損傷する恐れがあります。やわらかくてきれいな、乾燥した布材を使用して本製品を清掃してください。
- 本製品を分解したり、衝撃を与えたりしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。許可なく本製品を分解した場合、本製品は保証の対象外になります。
- お取り扱いにご注意ください。本製品を落としたり、誤った取り扱いをしたり、外的ショックを与えた場合、損傷および/または動作不良の恐れがあります。
- 本機に異物を入れようとししないでください。
- 過度な湿度を避け、本製品に水が入らないようにしてください。湿度や水にさらされると、本製品内部の電子部品が故障する恐れがあります。



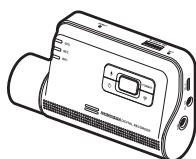
- 車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが切れていても電力がドライブレコーダーに供給され続ける場合があります。連続的に電力が供給されている12Vのコンセントに本機を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
- 本機は自動車の運転中にビデオを記録するように設計されています。ビデオの画質は昼夜、街灯の有無、トンネルへの出入り、および外気温などの気象および道路条件に影響されることがあります。
- 録画されたビデオが操作中に失われた場合には、THINKWAREは一切責任を負いません。
- 本機は強い衝撃を伴う車の衝突に耐えられるように設計されていますが、事故により損傷した場合でも、THINKWAREは事故の録画を保証しません。
- 最適な画質を得るためフロントガラスとカメラレンズの汚れを落としてください。粒子や物質がカメラレンズやフロントガラスに付着していると録画された画像の質が悪くなる場合があります。
- 本機は車内で使用することを目的としています。

1. 製品概要

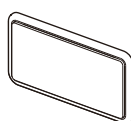
1.1 同梱物

本製品の箱を開封した際に、同梱物がすべて揃っていることを確認してください。

1.1.1 標準品



フロントカメラ(本体)



取り付け台



車載充電器



接着式ケーブルホルダー



アダプター付きMicroSD
メモリーカード
(消耗品)



クイックスタートガイド/保証書/
CS情報/ユーザーガイド
(MicroSDカードに保存)

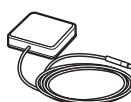


標準品は事前の通知なしに変更される可能性があります。

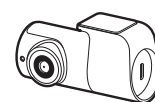
1.1.2 付属品(別売)



ハードワイヤケーブル



外部GPS受信機



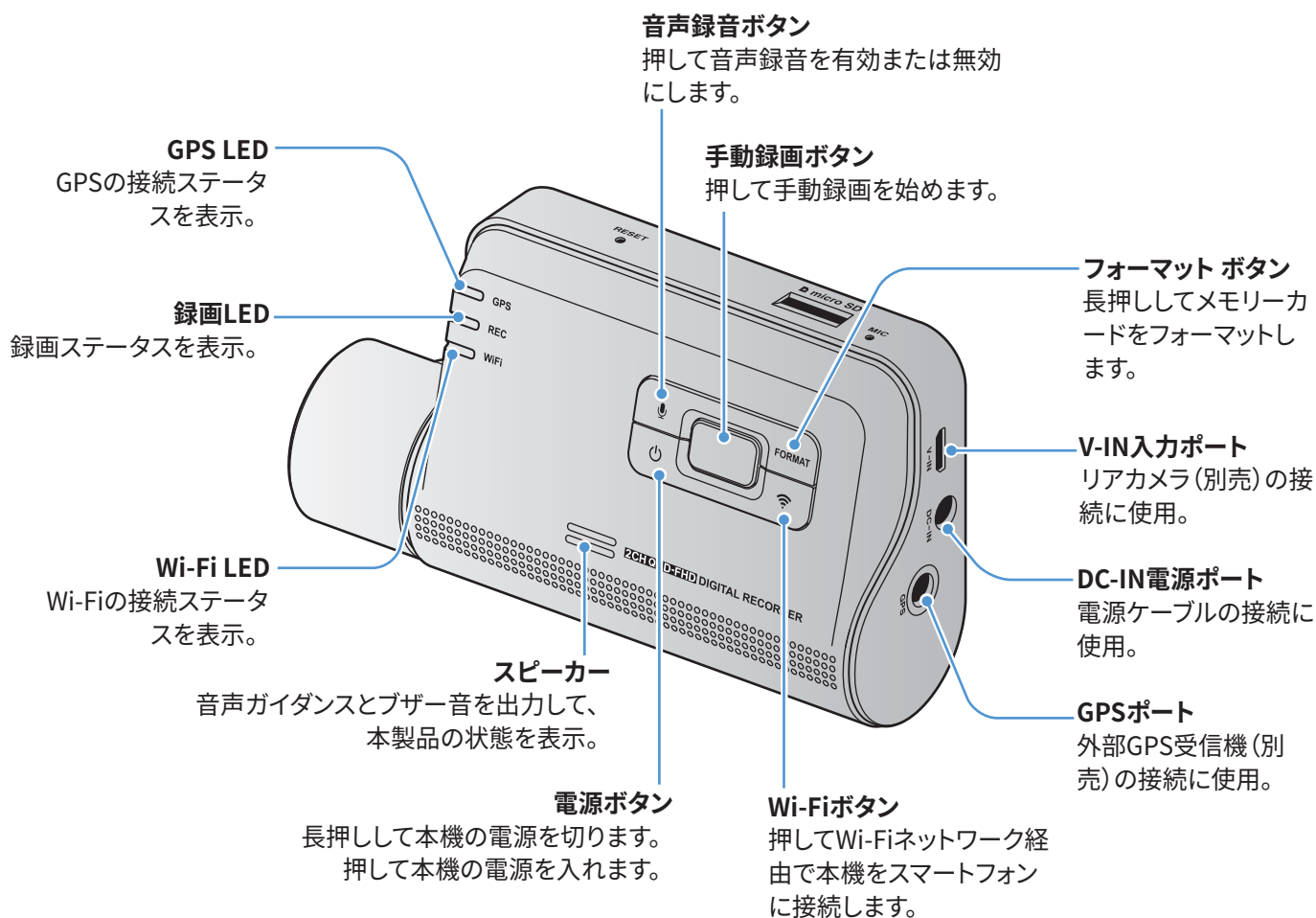
リアカメラ



- GPS受信は、車両のフロントガラスからの干渉、特に紫外線保護コーティングの施されているガラスまたは熱線の入っているガラスからの干渉の影響を受ける可能性があります。GPS信号が弱い時、またはGPS信号を受信できない時は、外部GPS受信機を使用することをおすすめします。
- 外部GPS受信機をフロントカメラに接続する際は、フロントカメラのGPSポートカバーをてこ棒または小型のマイナスドライバーで慎重に取り外し、ポートにアクセスします。

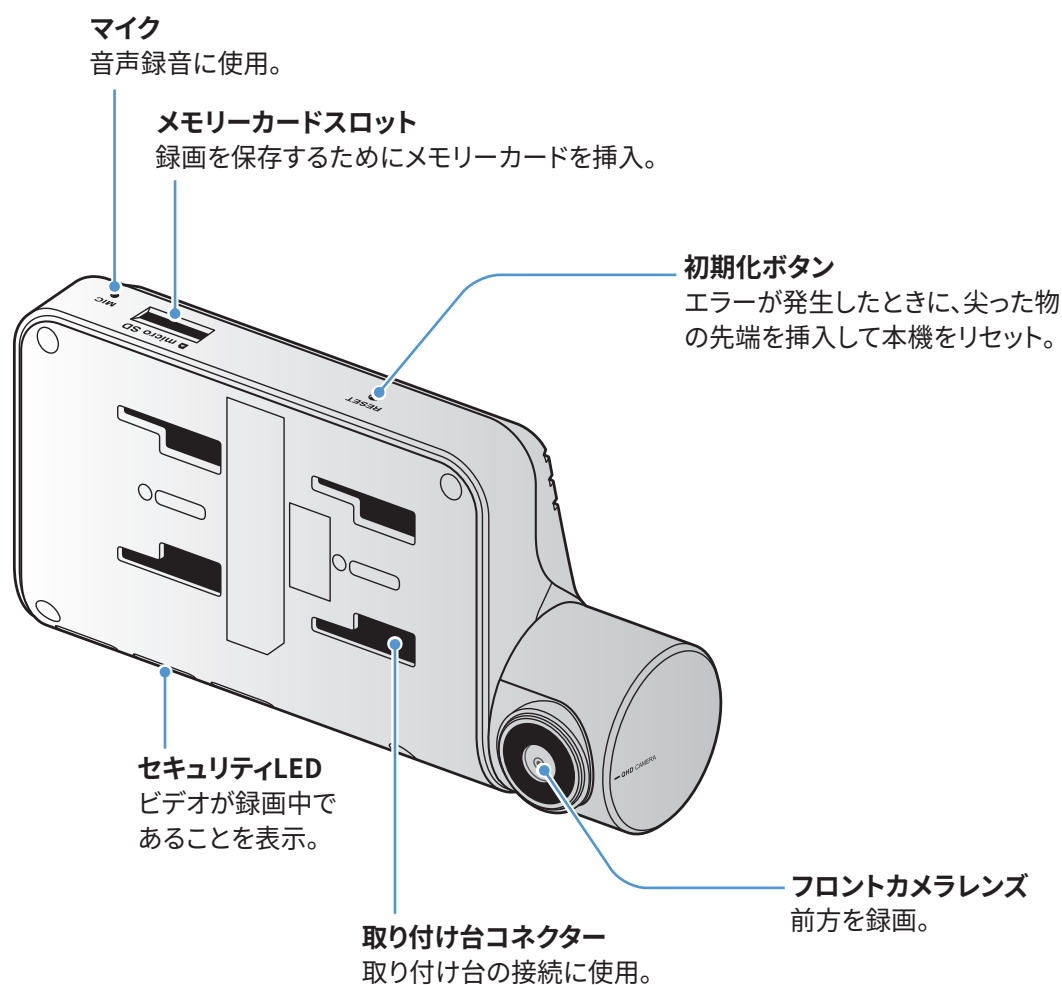
1.2 各部の名称

1.2.1 フロントカメラ(本体) - 正面図

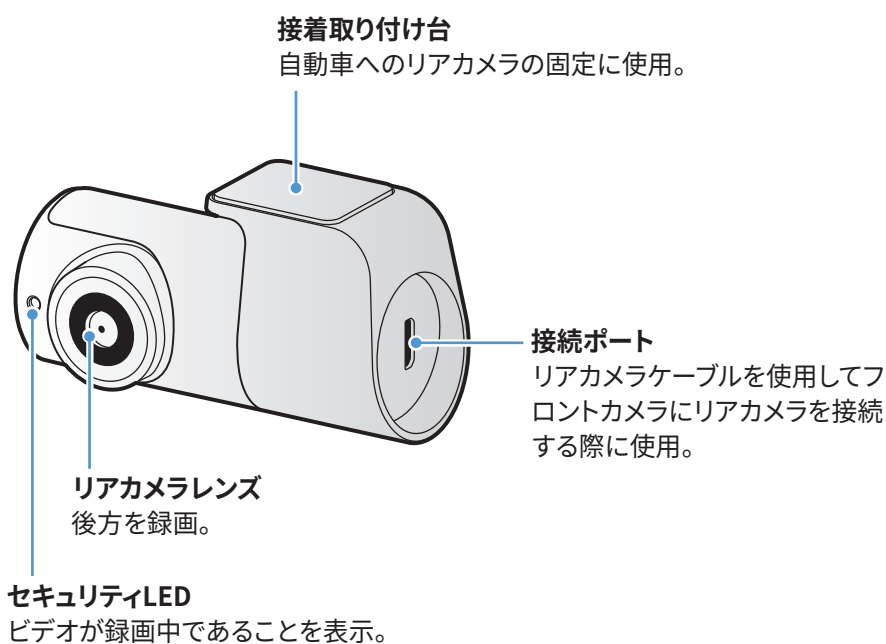


製品をリセットするには、音声録画(🎤)ボタンおよび手動録画(□)ボタンを同時に、ピープ音が聞こえるまで長押しします。

1.2.2 フロントカメラ(本体) - 背面図

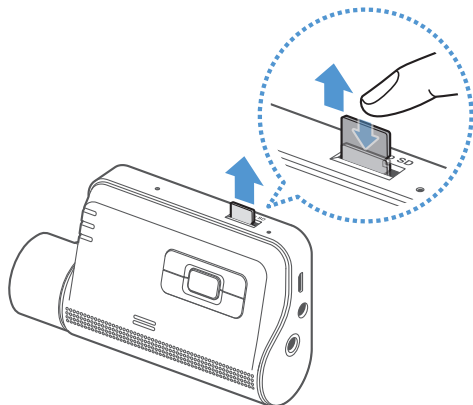


1.2.3 リアカメラ(別売)



1.3 メモリーカードの取り外しと挿入

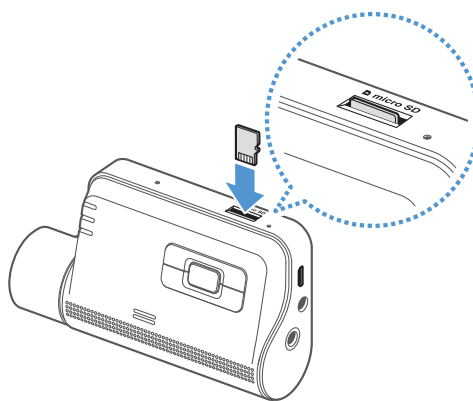
次の手順で本製品からのメモリーカードの取り外し、または本製品へのメモリーカードの挿入を行ってください。



メモリーカードを取り外す

本製品の電源がオフになっていることを確認してから、ご自分の指の爪でメモリーカードの底をやさしく押してください。メモリーカードの下部が飛び出します。

カードを本製品から取り外してください。



メモリーカードを挿入

メモリーカードの方向に注意しながらメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入して、カチッという音が聞こえるまでメモリーカードを押し込んでください。

メモリーカードを挿入する前に、メモリーカードの金属接触部が本製品のボタンと向かい合わせになっていることを確認してください。



- メモリーカードを取り外す前に、必ず本製品の電源をオフにしてください。本製品の電源がオンになっているときにメモリーカードを取り外した場合、記録されたビデオのファイルが破損または消失することがあります。
- メモリーカードを正しい向きにして、本製品に差し込んでください。メモリーカードが正しく差し込まれていない場合、メモリーカードスロットやメモリーカードが損傷することがあります。
- THINKWAREが認定したメモリーカードのみを使用してください。THINKWAREは、サードパーティーのメモリーカードの互換性や通常動作を保証しません。



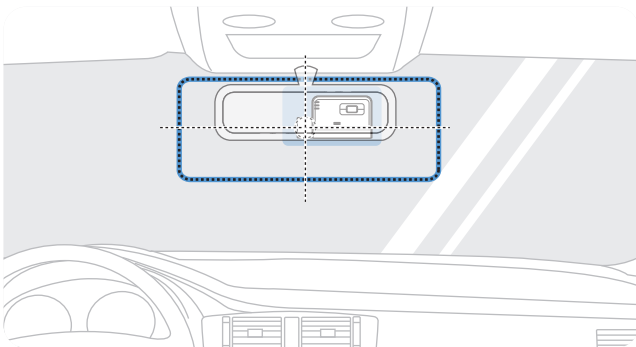
記録されたビデオを消失しないように、ビデオファイルを別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

2. 本製品の設置

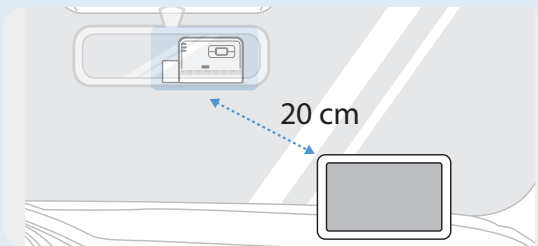
2.1 フロントカメラ(本体)の設置

次の手順で本製品を正しく設置してください。

2.1.1 設置位置の選定



運転手の視界を妨げず、自動車の前部がすべて映像として記録できる設置位置を選んでください。フロントカメラのレンズがフロントガラスの中央に配置されていることを確認してください。

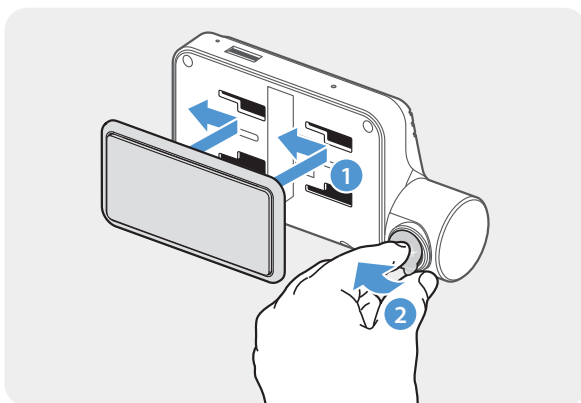


GPSナビゲーション装置をダッシュボード上に取り付ける場合、ダッシュボードカメラの設置位置によって、GPS受信が影響を受ける可能性があります。GPSナビゲーション装置の取り付け位置を調整して、2つの装置を20センチ(約8インチ)以上離してください。

2.1.2 本製品の固定

次の手順で本製品を設置位置に固定してください。

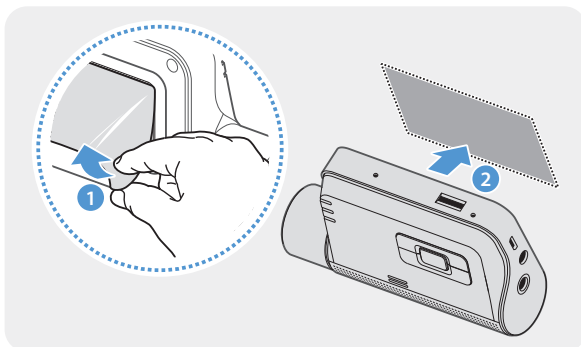
1



本製品の取り付けレールに取り付け台を合わせ、カチッと音がするまでスライドさせます(①)。次に、保護フィルムをていねいにはがします(②)。

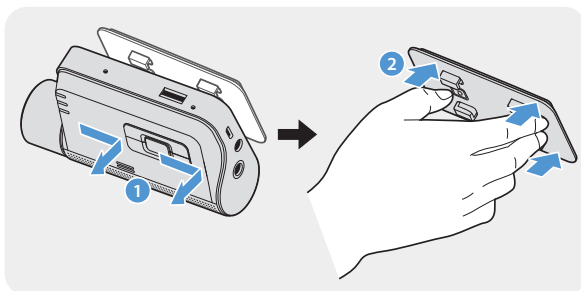
2 設置位置を決めたら、乾いた布でフロントガラスの設置位置を拭きます。

3



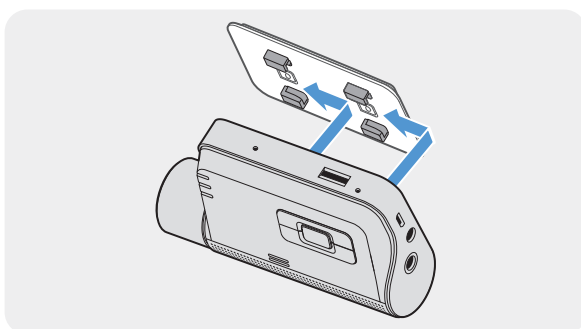
接着取り付け台から保護フィルムをはがして、取り付け台を設置位置に押し付けます。

4



本製品を取り付け台から取り外し、取り付け台をフロントガラスに押し付けて、しっかりと固定してください。

5

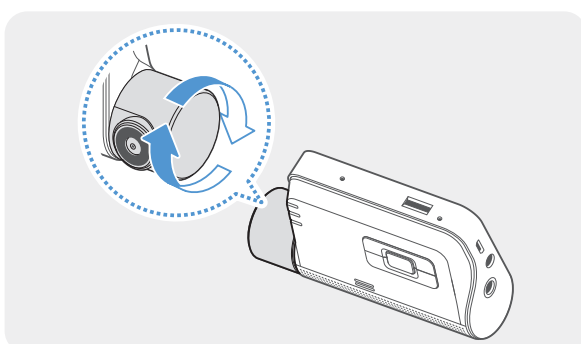


本製品を取り付け台に合わせて、カチッと音がするまでロック箇所へスライドさせます。



- 取り付け台にしっかりと固定されていない場合、本製品が運転中に落下したり損傷したりする可能性があります。
- 設置位置を変更するためにフロントガラスから取り付け台を取り外す必要がある場合は、フロントガラスのフィルムコーティングに傷をつけないように注意してください。

6



カメラの垂直アングルを適切に設定します。



カメラの角度を確認するには、設置後ビデオを録画して、モバイルビューワーやPCビューワーを使用して映像を確認してください。カメラの角度は適宜調整し直してください。

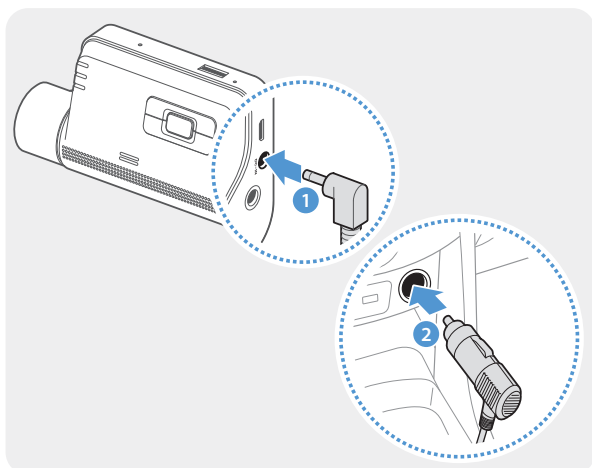
モバイルビューワーまたはPCビューワーの詳細は、「4. モバイルビューワーの使用」22 ページまたは「5. PCビューワーの使用」33 ページを参照してください。

2.1.3 電源ケーブルの接続

エンジンと電気アクセサリーの電源がオフのときに車載充電器を接続してください。



車両への配線ケーブル（別売）の取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください。



車載充電器を製品のDC-IN電源ポートに接続し、シガーソケットを車両の電源ソケットに差し込みます。



電源ソケットの位置と仕様は、自動車メーカーとモデルによって異なる場合があります。

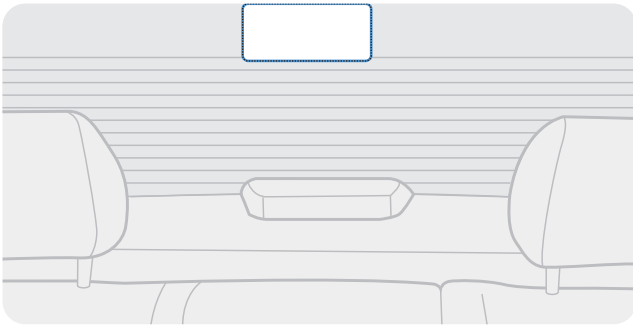


- THINKWARE純正車載充電器を使用してください。サードパーティーの電源ケーブルを使用した場合は本製品が損傷し、電圧差による電気火災や感電死の恐れがあります。
- お客様自身で電源ケーブルを切断したり改造したりしないでください。本製品や自動車を損傷する恐れがあります。
- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。ケーブルの配線に関する詳細はwww.thinkware.comにアクセスしてください。

2.2 リアカメラ(別売)の設置

次の手順でリアカメラを正しく設置してください。

2.2.1 設置位置の選定



リアガラスの熱線のない位置を選び、カメラが後方全体を録画できるようにします。



- リアガラスにサンシェードのついている自動車については、サンシェードがカメラの動きを妨げない位置を選んでください。
- リアカメラの接着部分が熱線に触れないようにしてください。

2.2.2 リアカメラの固定

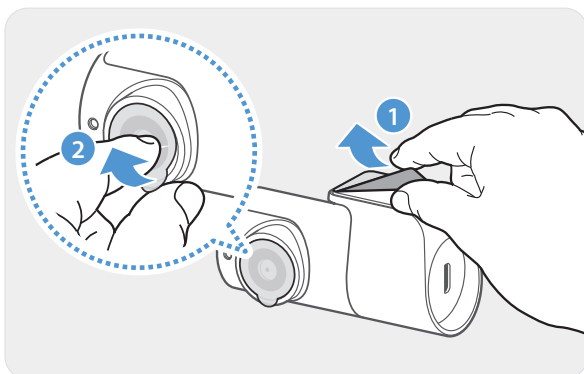
次の手順で本製品を設置位置に固定してください。

- 1 設置位置を決めたら、乾いた布でフロントガラスの設置面を拭きます。



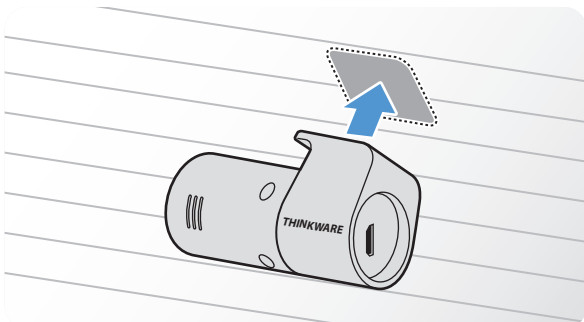
リアカメラをリアガラスに固定する前に、設置位置を確認してください。リアカメラをガラスに固定すると、接着力の強さにより、カメラを外したり、設置位置を変更したりすることが難しくなります。

2



接着取り付け台とカメラレンズから保護フィルムをはがします。

3

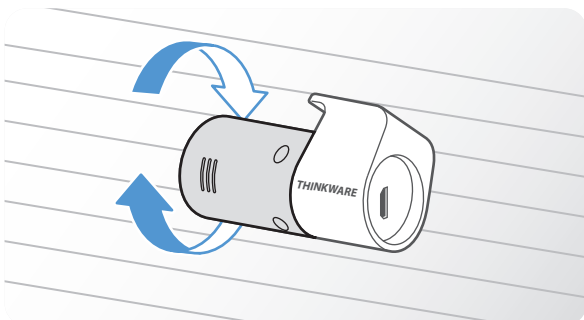


THINKWAREロゴを内側に向けて本製品を着け、カメラが固着するように接着テープ部分を強く押します。



本製品が逆さに固定されてしまうと、後方が逆さまに録画されます。

4

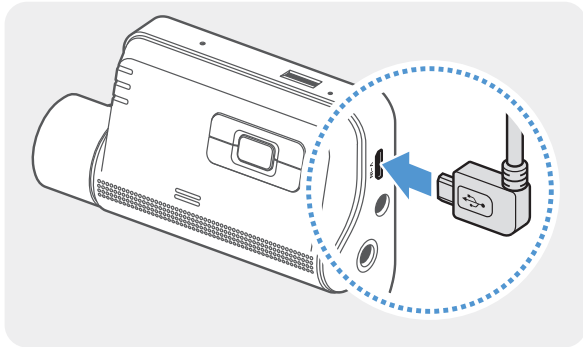


カメラの垂直アングルを調整します。

2.2.3 リアカメラケーブルの接続

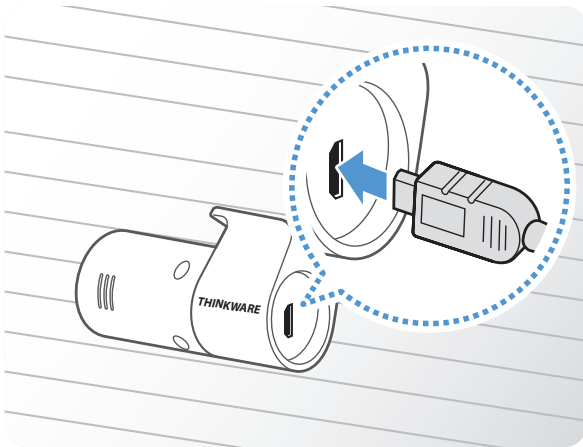
本製品の電源をオフにして、リアカメラケーブルをフロントカメラ(本体)に接続します。

1



リアカメラケーブルの一端を、フロントカメラのV-INポートにつなぎます。

2



リアカメラケーブルの別の一端を、リアカメラの接続ポートにつなぎます。



安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。

- 3 電源(ACC)をオンにするか、エンジンを始動して本製品の電源が入るかを確認します。本製品の電源が入ると、ステータスLEDと音声ガイダンスがオンになります。



ACCモードがオンになるか、またはエンジンがスタートすると、本製品の電源が入ります。

3. 録画機能の使用

3.1 本製品のオン/オフ

ACCの電源をオンにするか、エンジンを始動すると、本製品の電源が自動的に入り、常時録画がはじまります。



電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。ビデオ録画は、本製品が完全にオンになる(起動が完了する)までは開始しません。

3.2 ファイルの保存場所について

ビデオは、録画モードに合わせて次のフォルダに保存されます。

モバイルビューワーで	常時録画	常時衝撃	手動録画	駐車モーション	駐車衝撃
メモリーカード内	cont_rec	evt_rec	manual_rec	motion_timelapse_rec	parking_rec



ビデオは、Windows/MacコンピューターかThinkwareモバイルアプリを使用して再生してください。メモリーカードをスマートフォンやタブレット端末に挿入してビデオを再生すると、ビデオファイルが失われる可能性があります。



ファイル名は録画開始日時と録画オプションを基に構成されています。

	YYYY_MM_DD	HH_MM_SS	
REC_	2021_07_01	10_25_30	F.MP4
REC_	2021_07_01	10_25_30	R.MP4

録画状況

- F: フロントカメラ
- R: リアカメラ (別売のリアカメラが装備されている場合)

3.3 継続録画機能の使用

電源ケーブルを製品のDC-IN電源ポートに接続し、車両の電気アクセサリをオンにするかまたはエンジンを始動します。ステータスLEDと音声ガイドがオンになり、継続録画が始まります。

本製品は、常時録画中に以下のような動作をします。

モード	動作説明	録画LED (REC)
継続録画	運転中、ビデオは1分毎に録画され、「cont_rec」フォルダに保存されます。	 (点灯)
事故継続録画*	自動車への衝撃が検知されると、ビデオは検知10秒前から検知10秒後までの20秒間録画され、「evt_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)

* 継続録画中に車両への衝撃が検知されると、警告音が2回鳴り、事故継続録画が始まります。



- 電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。ビデオ録画は、本製品が完全にオンになる(起動が完了する)までは開始しません。
- 事故継続録画が始まると、開始を通知する警告音が2回鳴ります。この機能により、LEDインジケータを見て本製品の作動状況を確認する手間が省けます。
- 録画を有効にするには、メモリーカードを本製品に挿入する必要があります。

3.4 手動録画

運転中にキャプチャーしたい光景を録画して別のファイルに保存することができます。

手動録画を開始するには、手動録画()ボタンを押してください。その後、音声ガイドと共に手動録画が始まります。本製品は、手動録画中に以下のような動作をします。

モード	動作説明	録画LED (REC)
手動録画	手動録画()ボタンを押すと、ビデオはボタンを押す10秒前からボタンを押した50秒後までの1分間録画され、「manual_rec」フォルダに保存されます。	 (点滅)

3.5 駐車モードの使用

本製品が配線ケーブル(別売)を通じて自動車に接続されている場合、エンジンを切った後または電気付属品をオフにした後、作動モードが音声ガイダンスと共に駐車モードに切り替わります。



- 駐車モードは、配線ケーブルが接続されている場合にのみ、有効になります。車両への配線ケーブル(別売)の取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください。
- すべての録画モードを使用するには、メモリーカードを本製品に挿入する必要があります。
- 自動車のバッテリー状態によって、駐車モードの持続時間が変わることがあります。駐車モードを長時間使用する場合は、バッテリーが上がらないように、バッテリーの状態を確認してください。

駐車モードを使用しない場合、またはモードの設定を変更する場合は、モバイルビューワーで、**[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]**をタップします。

次の表で**[駐車モード]**オプションを設定してください。

オプション		動作説明	録画LED (REC)
モーション検知	モーションまたは衝撃は検知されませんでした	エリア内の動きや車両への衝撃を監視します。モーションまたは衝撃が検知されたときのみ、録画されます。	 (ゆっくり点滅)
	モーションが検知されたら	駐車中に移動物体が検知されると、ビデオが検知10秒前から検知10秒後までの20秒間録画され、「 motion_timelapse_rec 」フォルダに保存されます。	 (点滅)
	衝撃が検知されたら	駐車中に衝撃が検知されると、ビデオが検知10秒前から検知10秒後までの20秒間録画され、「 parking_rec 」フォルダに保存されます。	 (点滅)
タイムラプス録画	衝撃が検知されなかったら	ビデオは1秒当たりのフレーム数2fpsで10分間録画され、2分の長さのファイルに圧縮され、「 motion_timelapse_rec 」フォルダに保存されます。このオプションで録画したビデオファイルは小さいため、長いビデオを録画できます。	 (点灯)
	衝撃が検知されたら	駐車中に衝撃が検知されると、ビデオが1秒当たりのフレーム数2fpsで検知50秒前から検知50秒後までの100秒間録画され、20秒の長さのファイルに圧縮され、「 parking_rec 」フォルダに保存されます。(ブザーが鳴ります。)	 (点滅)
省エネ	衝撃が検知されなかったら	車両への衝撃を監視します。衝撃が検知されたときのみ、録画されます。	 (点灯)
	衝撃が検知されたら	駐車中に衝撃が検知されると、ビデオが検知1秒以内から20秒間録画され、「 parking_rec 」フォルダに保存されます。	 (点滅)
オフ		電気付属品やエンジンがオフになっていると、本機の電源が切れます。	オフ



駐車モードの設定を変えると、以前の設定で録画されたビデオが削除されます。データの損失を防ぐには、駐車モードの設定を変える前にすべての駐車モードのビデオをバックアップします。



モーション検知、タイムラプス、省エネルギーを同時に使用することはできません。

4. モバイルビューワーの使用

スマートフォンで録画されたビデオを閲覧/管理したり、さまざまな製品の機能を設定したりすることができます。



THINKWARE CLOUD アプリを使用するには、次のいずれかの環境が必要です。

- Android 4.4 (KitKat) 以降
- iOS 8.0 以降

4.1 本機のスマートフォンへの接続

4.1.1 製品をAndroidデバイスに接続する

- 1 AndroidデバイスのPlay Storeを開き、**THINKWARE CLOUD**をダウンロードしてインストールします。
- 2 **THINKWARE CLOUD**を実行します。
- 3 画面下部の**ドライブレコーダーの接続が必要です**。をタップし、画面上の指示に従って本製品をAndroidデバイスに接続してください。



本製品を最初にスマートフォンに接続するときはWi-Fiパスワードが必要です。入力欄に「**123456789**」と入力してください。

4.1.2 製品をiOSデバイスに接続する

Wi-Fi経由で接続する

- 1 iOSデバイスのApp Storeを開き、**THINKWARE CLOUD**をダウンロードしてインストールします。
- 2 **THINKWARE CLOUD**を実行します。
- 3 画面下部の**ドライブレコーダーの接続が必要です。**をタップします。
- 4 **[Wi-Fi接続]**をタップします。
- 5 本製品のWi-Fi () ボタンを押します。
- 6 **THINKWARE CLOUD**で、**[次へ]**をタップします。
Wi-Fi設定画面が表示されます。
- 7 ネットワーク一覧から「**Thinkware**」を開始するWi-Fiネットワークを選択します。
- 8 パスワード欄に「**123456789**」と入力して、**[接続]**をタップします。

本製品はWi-Fi経由でiOSに接続されます。

ホットスポット経由で接続する

- 1 iOSデバイスのApp Storeを開き、**THINKWARE CLOUD**をダウンロードしてインストールします。
- 2 **THINKWARE CLOUD**を実行します。
- 3 画面下部の**ドライブレコーダーの接続が必要です**。をタップします。
- 4 **[ホットスポット接続]>[新規接続の設定]**をタップします。

- 5 本製品のWi-Fi(📶)ボタンを押します。

- 6 **THINKWARE CLOUD**で、**[次へ]**をタップします。

Wi-Fi設定画面が表示されます。

- 7 ネットワーク一覧から「**Thinkware**」を開始するWi-Fiネットワークを選択します。

- 8 パスワード欄に「**123456789**」と入力して、**[接続]**をタップします。

本製品はWi-Fi経由でiOSに接続されます。

- 9 **THINKWARE CLOUD**に戻り、ホットスポットのパスワードを入力して、**[次へ]**をタップします。



ホットスポットのパスワードを確認するには、iOSデバイスのホーム画面で**[設定]>[個人用ホットスポット]**をタップしてください。

- 10 **[ホットスポットをオンにする]**をタップします。

- 11 ポップアップメッセージを確認して**[OK]**をタップします。

- 12 **[個人用ホットスポット]**をオンにして、「**インターネットに接続されました**」という音声聞こえるまで待ちます。



個人用ホットスポット設定画面を閉じないでください。「**インターネットに接続されました**」という音声聞こえる前に個人用ホットスポット設定画面を閉じた場合、接続は完了しません。

- 13 **THINKWARE CLOUD**に戻ります。

本製品はホットスポット経由でiOSに接続されます。

4.2 モバイルビューワ画面のレイアウト

モバイルビューワの画面レイアウトの概要は、以下の通りです。



4.3 モバイルビューワーでの録画されたビデオの再生

以下の手順で録画されたビデオを再生してください。



ビデオ ファイルリストを確認している間やモバイル ビューワーでビデオを再生している間は、本機の録画および先進運転支援システム (ADAS) 機能が無効になります。

- 1 スマートフォンで、Thinkware Cloudアプリを実行して、本機をスマートフォンに接続します。
- 2 モバイル ビューワーのホーム画面から、**ファイルリスト**をタップします。カテゴリーが表示されます。
- 3 任意のカテゴリーをタップします。ビデオ ファイルリストが表示されます。
- 4 必要に応じて、ビデオ ファイルリストをカメラでフィルタリングするには、**全体**、**前方**、または**後方**をタップします。
- 5 任意のビデオを選択します。

4.4 ビデオ管理メニューの概要

モバイル ビューワーのビデオ管理メニューの概要は、以下の通りです。



ビデオ ファイルリストを確認している間やモバイル ビューワーでビデオを再生している間は、本機の録画および先進運転支援システム (ADAS) 機能が無効になります。



4.5 クラウドサービス

ドライブレコーダーがインターネットに接続されている間は、自動車の位置を表示したり、ジオフェンスゾーンに出入りしたときの通知、強い衝撃を検知したときの通知を受信したりできます。

4.5.1 THINKWAREアカウントへのログイン

次の手順でTHINKWAREアカウントにログインしてください。



- クラウドサービスを使用するためにネットワーク機能をオンにする必要があります。ネットワーク機能をオンにするには、「6.6.1 ネットワーク機能を設定する」50 ページを参照してください。
- クラウドサービスを使用するためにTHINKWAREにログインする必要があります。IDをお持ちでない場合、**サインイン**画面の[ThinkWare登録]を選択して、まずアカウントを作成してください。
- THINKWAREアカウントにログインしてアカウントに製品を登録すると、Wi-Fiまたは他の携帯電話経由で製品がインターネットに接続された場合でも、クラウドサービスを使用できます。



... をタップします。



[サインイン]をタップします。



① IDとパスワードを入力します。

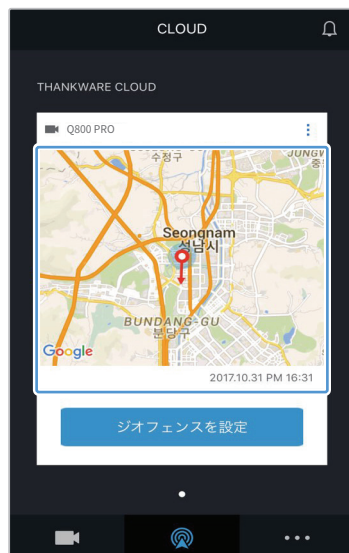
② [サインイン]をタップします。

4.5.2 自動車の位置検索

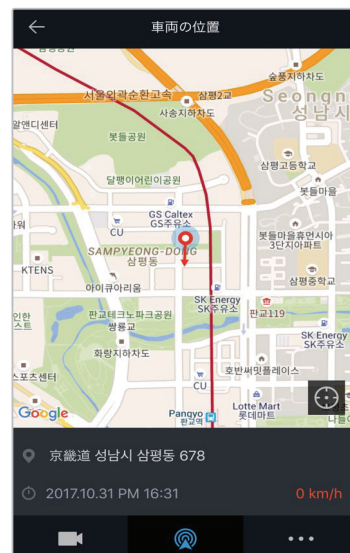
クラウドサービスでは、製品からGPS情報を受信して自動車の位置を表示します。次の手順で自動車の位置を検索してください。



 をタップします。



携帯電話の位置を示す印が地図に表示されます。
地図をタップして地図上の自動車の位置を確認します。



自動車の位置と方向を示す印が地図に表示されます。
GPS情報を最後に受信した日付と時刻も表示されます。



クラウドサービスが本製品からGPS情報を受信できなかった場合、または初めてクラウドサービスを使用する場合は次の画面が表示されます。**[再試行]**をタップして、GPS情報の再受信を試してください。



4.5.3 ジオフェンスの設定

自動車がジオフェンスゾーンに出入りしたときの通知を受信できます。

ジオフェンスの通知をオンにする

次の手順でジオフェンスの通知をオンにしてください。



⋮ をタップします。



[プッシュ通知設定]をタップします。



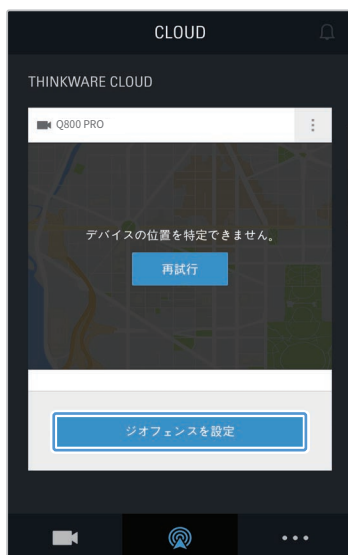
[ジオフェンス通知]をタップします。

ジオフェンスゾーンを追加する

次の手順でジオフェンスゾーンを追加してください。



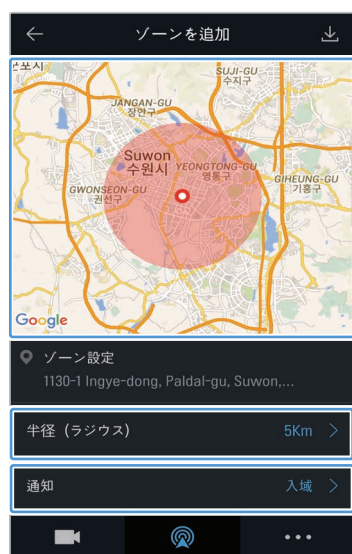
📍 をタップします。



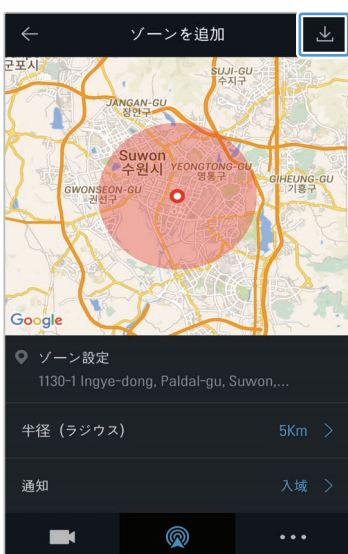
[ジオフェンスの設定]をタップします。



+をタップします。



- ① 地図上でご希望の位置をタップします。
- ② [半径]をタップして、距離を選択します。
- ③ [通知]をタップして、通知を受信するタイミングを選択します。



📄 をタップします。

4.5.4 運転中衝撃通知機能を使用します。

車両への衝撃が検知されると、通知が行われます。次の手順で運転時の衝撃通知をオンにしてください。



... をタップします。



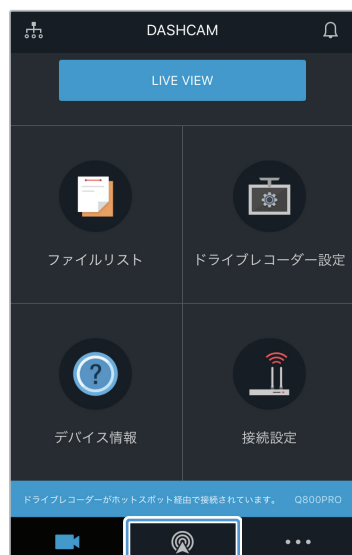
[プッシュ通知設定]をタップします。



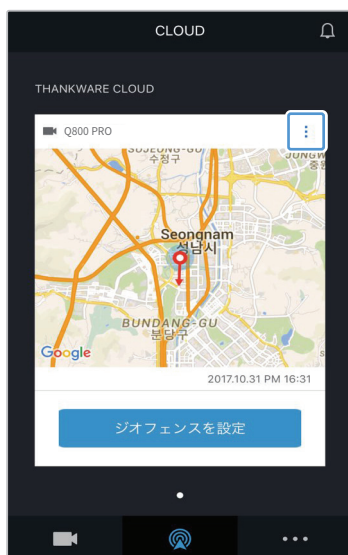
[運転中衝撃通知]をタップします。

4.5.5 クラウドサービスで運転中の衝撃時の動画を見る

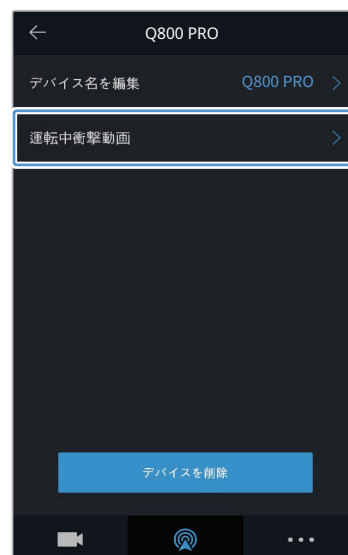
運転中に衝撃が検知された場合、クラウドサービスにアップロードされた衝撃時の映像を見ることができます。次の手順で運転中の衝撃時の映像を確認してください。



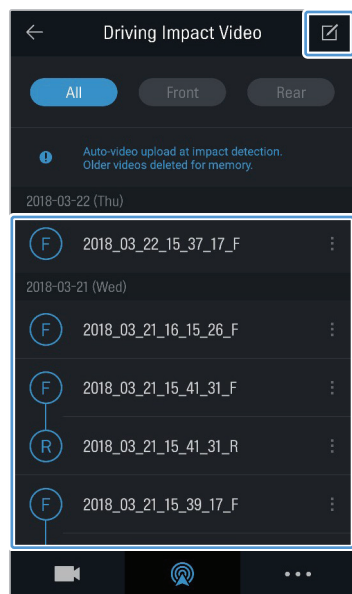
をタップします。



をタップします。



[運転中衝撃動画]をタップします。



再生したい衝撃時の動画をタップします。

• クラウドサーバーから運転中の衝撃時の動画をダウンロードするには、

- 1 をタップしてダウンロードしたい動画を選択します。
- 2 > [ダウンロード]をタップします。ダウンロードされた動画は、[ファイルリスト]メニューからご確認いただけます。

• クラウドサーバーから運転中の衝撃時の動画を削除するには、

- 1 をタップして削除したい動画を選択します。
- 2 > [はい/削除]をタップします。選択した動画がクラウドサーバーから削除されます。



- クラウドサービスを使用するためにネットワーク機能をオンにする必要があります。この機能を有効または無効にするには、「6.6.3 運転中の衝撃時の動画アップロード設定」50 ページを参照してください。
- アップロード速度やクラウドサーバーの動きは、お使いのモバイルネットワークやクラウドサーバーの状況によって変わります。

5. PCビューワの使用

PCで録画されたビデオを閲覧/管理したり、さまざまな製品の機能を設定したりすることができます。

5.1 システム要件

PCビューワを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

- プロセッサ: Intel Core i5以降
- メモリー: 4GB以上
- オペレーティングシステム: Windows 7以降 (64ビット推奨)、MacOS X10.8 Mountain Lion以降
- その他: DirectX 9.0以降/Microsoft Explorerのバージョン7.0以降



このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、PCビューワが正しく機能しません。

5.2 Windows用PCビューワ

5.2.1 PCビューワ (Windows用) をインストールする



PCビューワの最新のソフトウェアは、THINKWAREウェブサイトからダウンロードできます (<http://www.thinkware.com/Support/Download>)。

PCビューワのインストールファイル (setup.exe) は、本製品と一緒に提供されるメモリーカードのルートフォルダに保存されています。手順に従って、PCビューワをパソコンにインストールしてください。

- 1 PCに接続されているメモリーカードリーダーに、メモリーカードを挿入してください。
- 2 インストールファイルを起動し、インストールウィザードの手順に従ってインストールを行います。インストールが完了すると、THINKWARE Dashcamビューワのショートカットアイコンが表示されます。



5.2.2 PCビューワー画面のレイアウト (Windows用)

PCビューワーの画面レイアウトの概要は、以下の通りです。

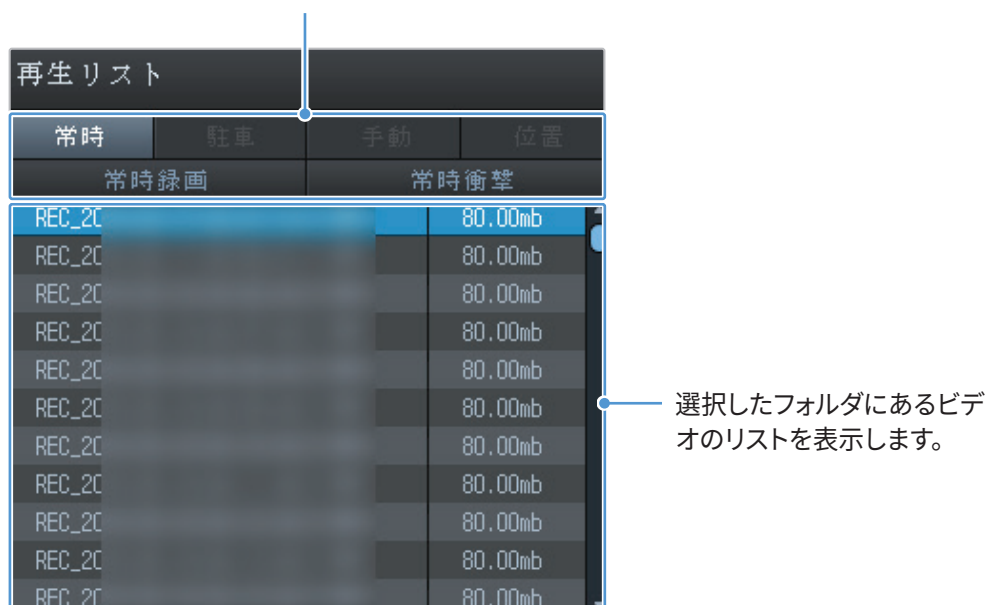


5.2.3 PCビューワでの録画されたビデオの再生 (Windows用)

以下の手順で録画されたビデオを再生してください。

- 1 本製品の電源を切ってメモリーカードを取り外してください。
- 2 PCに接続されているメモリーカードリーダーに、メモリーカードを挿入してください。
- 3 PCビューワのショートカット () をダブルクリックして、プログラムを開きます。メモリーカード内のビデオファイルは、PCビューワ画面の右下隅にある[再生リスト]に自動的に追加されます。[再生リスト]セクションのレイアウトは以下の通りです。

フォルダを選択します。



- 4 ビデオフォルダを選択してからビデオファイルをダブルクリックするか、ビデオファイルを選択してから[再生]ボタン (▶) をクリックします。選択されたビデオファイルが再生されます。



PCビューワを実行してもメモリーカードのビデオファイルが再生リストに自動的に追加されない場合は、[ファイル▼] > [開く]をクリックしてメモリーカードのリムーバブルメディアを選択し、[確認]をクリックします。

5.2.4 ビデオ管理メニューの概要 (Windows用)

PCビューワのビデオ管理メニューの概要は、以下の通りです。



番号	項目	説明
①	前のファイルの再生	現在選択されているフォルダにある1つ前のファイルを再生します。
②	10秒巻き戻し	ビデオを10秒巻き戻します。
③	再生／一時停止	選択したビデオファイルを再生または一時停止します。
④	停止	現在再生中のビデオを停止します。プログレスバーはビデオの最初に戻ります。
⑤	10秒先送り	ビデオを10秒先に進めます。
⑥	次のファイルの再生	現在選択されているフォルダにある次のファイルを再生します。
⑦	再生リストにある次のファイルの再生の有効化/無効化	再生リストにある次のファイルの再生機能を有効または無効にします。
⑧	画像の拡大/縮小	現在のビデオのサイズを拡大または縮小します。
⑨	保存	PCに現在のビデオを保存します。
⑩	音量	現在のビデオの音量を調整します。

5.3 Mac用PCビューワ

5.3.1 PCビューワ (Mac用) をインストールする



PCビューワの最新のソフトウェアは、THINKWAREウェブサイトからダウンロードできます (<http://www.thinkware.com/Support/Download>)。

PCビューワのインストールファイルは、本製品と一緒に提供されるメモリーカードのルートフォルダに保存されています。

with the product. 手順に従って、PCビューワをパソコンにインストールしてください。

- 1 提供されるSDカードリーダーまたはSDカードアダプターを使用してパソコンにメモリーカードを挿入します。
- 2 「dashcam_viewer_X.X.X.dmg」という名前のファイルをデスクトップに移動します。
- 3 dashcam_viewer_X.X.X.dmgをダブルクリックして、[Dashcamビューワを開く]をクリックします。

THINKWARE Dashcamビューワが開きます。

5.3.2 PCビューワー画面のレイアウト (MAC用)

PCビューワーの画面レイアウトの概要は、以下の通りです。



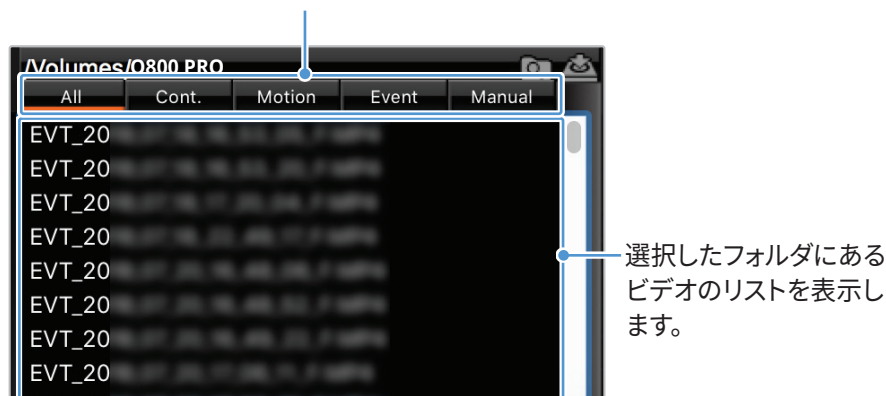
5.3.3 PCビューワ (Mac用)での録画されたビデオの再生

以下の手順で録画されたビデオを再生してください。

- 1 本製品の電源を切ってメモリーカードを取り外してください。
- 2 提供されるSDカードリーダーまたはSDカードアダプターを使用してMacにメモリーカードを挿入します。
- 3 PCビューワを開きます。
- 4 をクリックして、メモリーカードの位置を検索します。

メモリーカード内のビデオファイルは、PCビューワ画面の右下隅にある[再生リスト]に自動的に追加されます。[再生リスト]セクションのレイアウトは以下の通りです。

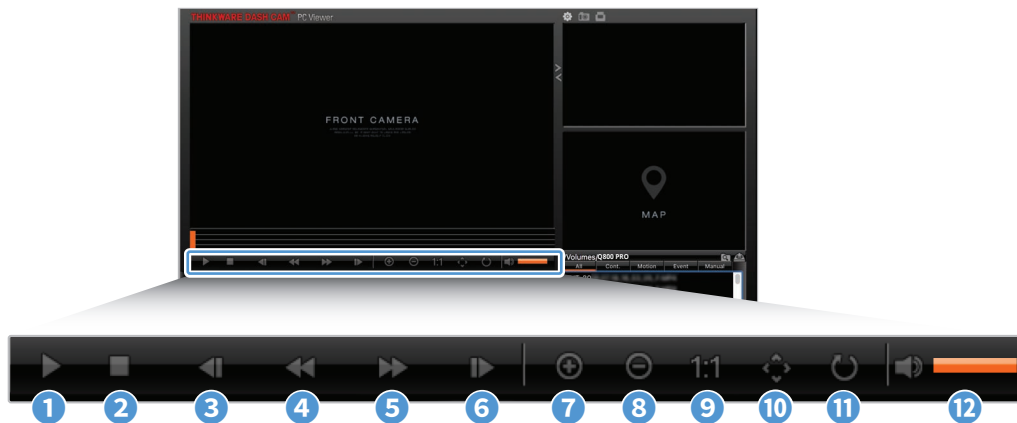
フォルダを選択します。



- 5 ビデオフォルダを選択してからビデオファイルをダブルクリックするか、ビデオファイルを選択してから[再生]ボタン(▶)をクリックします。選択されたビデオファイルが再生されます。

5.3.4 ビデオ管理メニューの概要 (Mac用)

PCビューワーのビデオ管理メニューの概要は、以下の通りです。



番号	項目	説明
①	再生／一時停止	選択したビデオファイルを再生または一時停止します。
②	停止	現在再生中のビデオを停止します。プログレスバーはビデオの最初に戻ります。
③	前のファイルの再生	現在選択されているフォルダにある1つ前のファイルを再生します。
④	1フレーム巻き戻し	ビデオを1フレーム巻き戻します。
⑤	1フレーム先送り	ビデオを1フレーム早送りします。
⑥	次のファイルの再生	現在選択されているフォルダにある次のファイルを再生します。
⑦	拡大	現在のビデオを拡大します。
⑧	縮小	現在のビデオを縮小します。
⑨	映像サイズを元に戻す	現在のビデオのサイズを元のサイズに戻します。
⑩	スクロールバーを表示する	映像が拡大されたときはスクロールバーを表示します。
⑪	映像の反転	ビデオの上下を反転させます。
⑫	音量	現在のビデオの音量を調整します。

6. 設定

モバイルビューワーまたはPCビューワーを使用して、本製品の機能を自分のニーズと好みに合わせて設定できます。以下の手順は、モバイルビューワーのものです。



モバイルビューワーを設定している間、本機の録画は停止します。

6.1 メモリーカードの管理

6.1.1 メモリーカードの分割

メモリーカードを分割し、録画するビデオの種類に合わせて保存領域を調整できます。次の手順でメモリーカードを分割してください。

- 1 モバイルビューワーから、**[ドライブレコーダー設定] > [メモリーカード設定]**とタップします。
- 2 **[メモリーパーティション]**で、任意のメモリーパーティションのタイプを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.1.2 メモリーカードのフォーマット

このメニューで、本製品に挿入されるメモリーカードのフォーマットができます。次の手順でメモリーカードをフォーマットしてください。

- 1 モバイルビューワーで、**[ドライブレコーダー設定] > [メモリーカード設定]**をタップし、**[メモリーカードのフォーマット]**の下にある**[フォーマット]**ボタンをタップします。
- 2 **[メモリーカードのフォーマット]**で、**[OK]**をタップして、メモリーのフォーマットを実行します。メモリーカードに保存されているデータはすべて、フォーマット後に消去されます。メモリーのフォーマットをキャンセルするには、**[キャンセル]**をタップします。

6.1.3 ビデオ上書き機能の設定

このメニューで、各モードで保存されている最も古いビデオファイルが新しいビデオファイルで上書きされます。

- 1 モバイルビューワーから、**[ドライブレコーダー設定] > [メモリーカード設定]**とタップします。
- 2 **[録画映像の上書き]**で、モードを選択して、ビデオの上書きを許可します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.2 カメラの設定

前方と後方の輝度を調整したり、後方の画像の上下を逆転させることができます。

6.2.1 フロントカメラの輝度の設定

前方の録画の輝度を設定することができます。次の手順で輝度を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [カメラ設定]とタップします。
- 2 [輝度 - 前方]で、[暗い]、[中間]、[明るい]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.2.2 リアカメラの輝度の設定

後方の録画の輝度を設定することができます。次の手順で輝度を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [カメラ設定]とタップします。
- 2 [輝度 - 後方]で、[暗い]、[中間]、[明るい]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.2.3 後方の映像の上下を逆転

後方の映像の上下を逆転させることができます。次の手順でこの機能を有効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [カメラ設定]とタップします。
- 2 [リアカメラ回転]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3 録画機能の設定

本製品が常時録画中に衝撃を検知した場合の録画の検知感度など、録画のさまざまな機能を設定および調整できます。

6.3.1 常時衝撃検知感度の設定

運転中に衝撃を検知した場合の録画の検知感度を設定できます。感度を設定する際は、道路状態、交通状況、ご自分の運転スタイルを考慮に入れる必要があります。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [常時衝撃感度]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.2 スーパーナイトビジョン機能の設定

スーパーナイトビジョン機能を有効にすると、夜間の駐車中に明るい高解像度のビデオを録画できます。指示に従って、スーパーナイトビジョン機能を使用する記録モードを選択します。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [スーパーナイトビジョン]で、スーパーナイトビジョン機能を使用する任意の記録モードを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.3 駐車モードの設定

自動車が駐車している間の、本製品の作動モードを設定できます。次の手順で駐車モードを設定してください。



駐車モードを使用するには、配線ケーブル(別売)の設置が必要です。常時電源が本製品に供給されないと、自動車のエンジンがかかっていない時に本製品の録画が停止します。



駐車モードの詳細は、"3.5 駐車モードの使用"を参照してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [駐車モード]で、任意の駐車モードのオプションを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.4 駐車モードでの衝撃感度の設定

駐車中に衝撃を検知した場合の録画の検知感度を設定できます。次の手順で駐車中の衝撃感度を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [駐車衝撃感度]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.5 モーション感度の設定

モーション検知機能により、移動物体が自動車近くで検知された時にビデオが録画されます。次の手順でモーション感度を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [モーション感度]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.6 録画タイマー機能の設定

録画タイマー機能を有効にすると、本製品はあらかじめ設定された時間に駐車モードでビデオを録画します。次の手順で時間を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [録画終了タイマー]で、任意の時間を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。



駐車中は、自動車のバッテリーが充電されません。駐車モードで長時間録画すると、自動車のバッテリーが上がったり、自動車のエンジンがかからなくなったりすることがあります。

6.3.7 バッテリー保護機能の設定

バッテリー保護機能を使用するように設定できます。次の手順でこの機能を有効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [低電圧シャットダウン機能]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.8 録画終了電圧機能の設定

電圧制限を設定して、低電圧オフ機能を使用する時に録画を停止できます。次の手順で電圧を設定してください。



- [バッテリー保護]設定が**有効**に設定されている場合にのみ、バッテリー遮断電圧を設定できます。
- オフ電圧値が低すぎると、車両タイプや温度などの条件によって、本製品がバッテリーを完全に消費する可能性があります。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [12V]または[24V]から、任意の電圧を選択します。

車両電圧12Vを使用している自動車（ほとんどの乗用車）では、[12V]を設定します。車両電圧24Vを使用している自動車（トラックや商用車）では、[24V]を設定します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.3.9 冬期のバッテリー保護機能の設定

寒い季節に月を設定して、車両の低電圧保護レベルを適用できます。次の手順で月を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [録画機能設定]とタップします。
- 2 [冬季カットオフ電圧]で、月を設定して、バッテリー保護機能を適用します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4 交通安全警告機能の設定

交通安全警告システム、LDWS (車線逸脱警告)、FCWS (前方衝突警告)、低速FCWS (前方衝突警告)、FVDW (前方車両発車警告) を有効または無効にして、そのオプションを設定できます。

6.4.1 交通安全警告システムの設定

自動車が速度制限ゾーンに接近または通過すると、交通安全警告システムがGPS信号と交通安全警告データを収集します。次の手順でこの機能を有効または無効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [交通安全警告]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.2 モバイルゾーン警告の設定

次の手順でモバイルゾーン警告をオンまたはオフにします。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [モバイルゾーン警告]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.3 車両タイプの識別

次の手順でADAS校正の設定を初期化してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [車両タイプ]で、自分の車両タイプを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.4 ADAS校正の設定の初期化

次の手順で先進運転支援システム(ADAS)機能を使用して車両タイプを識別してください。

- 1 モバイルビューワーで、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]をタップし、[ADASの初期化]の下にある[初期化]ボタンをタップします。
- 2 [ADASを初期化]で、[OK]をタップして、初期化を行います。初期化をキャンセルするには、[キャンセル]をタップします。

6.4.5 車線逸脱警告感度の設定

車両が車線から外れると、LDWS(車線逸脱警告)はリアルタイムのビデオ映像を介して車線逸脱を検出し、運転手に警告します。次の手順で検知感度を設定するか、またはこの機能を有効、無効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [LDWS (車線逸脱警告)]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.6 車線逸脱警告速度の設定

車線逸脱警告速度を変更できます。次の手順で車線逸脱警告速度を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [LDWS 速度]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.7 前方衝突検知感度の設定

車両が時速30km以上で走行すると、FCWS(前方衝突警告)はリアルタイムのビデオ映像を介して前方衝突の危険を検出し、運転手に警告します。次の手順で検知感度を設定するか、またはこの機能を有効、無効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [FCWS (前方衝突警告)]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.8 低速前方衝突検知感度の設定

車両が時速30km以下で走行すると、低速FCWS(前方衝突警告)はリアルタイムのビデオ映像を介して前方衝突の危険を検出し、運転手に警告します。次の手順で検知感度を設定するか、またはこの機能を有効、無効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [低速FCWS]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.4.9 前方車両発車警告の設定

車両が渋滞で止まった際に、前の車両の発車を検出して運転手に通知します。次の手順でこの機能を有効または無効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [交通安全警告設定]とタップします。
- 2 [FVDW(前方車両発車警告)]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5 システム設定

このメニューで、表示する言語や画面の輝度など、作動の際にシステム全体に適用されるハードウェアの設定ができます。

6.5.1 表示言語の設定

画面に表示する言語を設定します。次の手順で言語を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [言語]で、任意の言語を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5.2 システムのボリュームの調整

このメニューで、音声ガイダンスの音量を調整できます。次の手順で音量を調整してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [音量]で、0、1、2、または3を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。



0を選択すると、音声ガイダンスが無効になります。

6.5.3 セキュリティLEDの設定

次の手順でセキュリティLEDをオンまたはオフにします。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [セキュリティLED]で、任意のモードを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5.4 リアカメラLEDの設定

次の手順でリアカメラのLEDをオンまたはオフにします。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [後方カメラLED]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5.5 タイムゾーンの設定

次の手順でタイムゾーンを設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [タイムゾーン]で、任意のタイムゾーンを選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5.6 夏時間の設定

次の手順で夏時間を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [夏時間設定]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5.7 速度単位の設定

次の手順で速度単位を設定してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [速度単位]で、[km/h]または[mph]を選択します。

6.5.8 スピードスタンプの設定

次の手順でスピードスタンプ機能をオンまたはオフにします。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [システム設定]とタップします。
- 2 [スピードスタンプ]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.5.9 音声録画の設定

次の手順で音声録画機能をオンまたはオフにします。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [音声録画]とタップします。
- 2 [音声録画]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.6 ネットワーク機能の設定

ネットワーク機能および運転中衝撃通知を有効/無効にできます。

6.6.1 ネットワーク機能を設定する

次の手順でネットワーク機能をオンまたはオフにします。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [ネットワーク機能設定]とタップします。
- 2 [ネットワーク機能]で、[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

6.6.2 運転中衝撃通知の感度を設定する

運転中に衝撃を検知した場合の録画の検知感度を設定できます。次の手順で運転中衝撃通知の感度を選択してください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [ネットワーク機能設定]とタップします。
- 2 [運転中衝撃通知]で、任意の感度を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。



1G:1Gの加速は、約35km/h (22マイル/h) の速度における経過時間1秒当たりの変化率に相当します。

- 衝撃1 = 3G
- 衝撃2 = 4G

6.6.3 運転中の衝撃時の動画アップロード設定

運転中に衝撃が検知された際、クラウドサーバーに衝撃時の映像をアップロードするかどうかを選択することができます。次の手順でこの機能を有効または無効にしてください。

- 1 モバイルビューワーから、[ドライブレコーダー設定] > [ネットワーク機能設定]とタップします。
- 2 [運転中衝撃動画をアップロード]から[有効]または[無効]を選択します。新しい設定は自動的に適用されます。

7. 製品情報の確認

メニュー画面からアクセスできる基本的な製品情報から、新しいユーザーは大切な情報を見つけることができるかもしれません。

7.1 製品情報の表示

モバイルビューワーから、[デバイス情報]をタップして、製品情報を表示します。次の製品情報が画面に表示されます。

- 製品名
- ファームウェア
- 交通安全警告バージョン
- メモリーカードの容量
- ローカルID
- GPS情報

7.2 GPSへのアクセスおよび設定

GPSモジュールは、記録されたビデオに位置データを含めるために使用されます。モバイルビューワーから、[デバイス情報] > [GPS情報]をタップして、GPS機能を表示します。接続ステータス、シグナル強度、時間(UTC)、車両速度、現在の高度、HDOP(水平精度低下率)が画面に表示されます。

 をタップしてGPSを初期化し、現在の位置を特定できるようにします。



水平精度低下率(HDOP)

HDOPとは、衛星測位によるGPS偏差の値です。

8. ファームウェアのアップグレード

ファームウェアをアップグレードすると、本製品の機能や動作が強化されたり、安定性が向上したりします。本製品を最適に動作させるには、ファームウェアを最新の状態に保つ必要があります。

次の手順でファームウェアをアップグレードしてください。

- 1 PC上でWebブラウザを開き、<http://www.thinkware.com/Support/Download>にアクセスしてください。
- 2 本製品を選択して最新のファームウェアアップグレードファイルをダウンロードしてください。
- 3 ダウンロードしたファイルを解凍してください。
- 4 本製品の電源を切ってメモリーカードを取り外してください。
- 5 PC上でメモリーカードを開き、ファームウェアのアップグレード用ファイルをメモリーカードのルートフォルダにコピーしてください。
- 6 本製品の電源がオフの間に、メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込んでください。
- 7 電源ケーブルを本製品に接続して、電源 (ACC ON) をオンにするか、エンジンを始動することで本製品の電源をオンにします。ファームウェアのアップデートは自動的に始まり、ファームウェアの更新が完了するとシステムは再起動します。



アップグレード中は、電源を切ったりメモリーカードを本製品から取り外したりしないでください。本製品やメモリーカードに保存されたデータに重大な損害を与える恐れがあります。



モバイルビューワーやPCビューワーでファームウェアを更新することもできます。

9. 本製品のリセット

音声録画() ボタンおよび手動録画() ボタンを同時に、ビープ音が聞こえるまで長押しします。

10. トラブルシューティング

以下の表には、本製品をご使用の際に発生する可能性のある問題とその対策が示されています。表に記載された対策を講じて問題が解決しない場合は、カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

問題	解決策
製品の電源が入らない。	- 電源ケーブル(車載充電器または配線ケーブル)が自動車と製品に正しく接続されていることを確認してください。 - 自動車のバッテリーのレベルを確認してください。
音声ガイダンスまたはブザーが鳴らない。	音量が最小値に設定されていないか確認してください。音量の調整の仕方についての詳細は、"6.5.2 システムのボリュームの調整"を参照してください。
ビデオが不明瞭またはほとんど見えない。	- カメラレンズの保護フィルムがはがされているか確認してください。保護フィルムがカメラレンズについたままだと、ビデオがよく見えません。 - フロントカメラまたはリアカメラの設置位置を確認し、製品をオンにしてカメラの視野角を調整してください。
メモリーカードが認識されない。	- メモリーカードが正しい方向に挿入されているか確認してください。メモリーカードを挿入する前に、メモリーカードの金属接触部が本製品のレンズと向かい合わせになっていることを確認してください。 - 電源を切ってメモリーカードを取り外し、メモリーカードスロットの接触部が損傷していないか確認してください。 - メモリーカードがTHINKWAREによって提供されている純正品であるか確認してください。THINKWAREは、サードパーティーのメモリーカードの互換性や通常動作を保証しません。
録画したビデオがPCで再生できない。	録画されるビデオはMP4ビデオファイルとして保存されます。PCにインストールされているビデオプレイヤーがMP4ビデオファイルの再生をサポートしているか確認してください。
外部GPS受信機が設置されているのに、GPS信号を受信できない。	サービス外エリアにいたり、本製品が高いビルの上に位置したりしている場合、GPS信号を受信できないことがあります。また、GPS信号は雷雨や豪雨の際に受信できないことがあります。GPS受信が良好だとわかっている位置で、天候の良い日に再度試行してください。GPS受信が始まるまで最大5分かかる可能性があります。

サービスセンターへお問い合わせいただく前に

メモリーカードに保存された重要なデータはすべてバックアップしてください。メモリーカードのデータは修正の際に消える可能性があります。修正が必要な製品は、いずれもデータのバックアップが行われた機器と見なされます。カスタマーサービスセンターでは、お客様のデータのバックアップは行いません。THINKWAREは、データの損失などの、いかなる損失についても責任を負いません。

11. 仕様

本製品の仕様については、次の表を参照してください。

項目	仕様	備考
モデル名	Q800 PRO	
寸法/重量	107 x 60.5 x 30 mm / 104.5 g 4.2 x 2.4 x 1.18 inch / 0.23 lb	
メモリー	MicroSDメモリーカード	16GB、32GB、64GB、128GB (UHS-I)
録画モード	常時録画	1分毎に録画 (デュアルチャンネルは前方と後方の録画でサポート)
	事故録画	事故前後10秒 (合計20秒) を録画
	手動録画	手動で録画を開始する10秒前から開始した50秒後まで (合計1分) を録画
	駐車録画 (駐車モード)	(オプション)
	録音	音声録音ボタンを押して、録音をオン/オフにします。
カメラセンサー	5.14メガピクセル、1/2.8" Sony STARVIS	
視野角 (レンズ)	約140° (対角)	
ビデオ	QHD (2,560 X 1,440)/H.264/ ファイル拡張子:MP4	
フレームレート	最大30fps	前方/後方録画に均等に適用
音声	HE-AAC	
加速度センサー	3軸加速度センサー (3D、±3G)	5レベルの感度調整が可能
リアカメラ (別売)	V-INポート	別途購入の必要なオプションアクセサリ
GPS	内蔵GPS	安全運転セクション警告をサポート
電源入力	DC12/24Vサポート	
消費電力	2CH:4.2 W/1CH:2.9 W (平均値)	完全に充電されたスーパーキャパシタ/GPSを除く
補助電力装置	スーパーキャパシタ	
LEDインジケーター	• 前方:セキュリティLED • 後方:GPS LED、Rec LED、Wi-Fi LED	
警告	内蔵スピーカー	音声ガイダンス (ブザー音)
作動温度	14~140°F/-10~60°C	
保管温度	-4~158°F/-20~70°C	
接続インターフェイス	V-INポート x 1	

<http://www.thinkware.com>